



たまねぎ



発行日：令和8年2月6日

1. 卸売価格の動向

○286 円/kg（2月3日）

➤ 平年比：173%

○2月の価格見通し

平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○487 円/kg

（1月9日全国平均）

➤ 前月比：103%、平年比：161%

➤ 東京：329 円（3玉）

➤ 大阪：261 円（4玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：3/20（前月 3/20）

➤ 大阪：4/10（前月 5/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○373g/人（12月全国平均）

➤ 前月比：98%

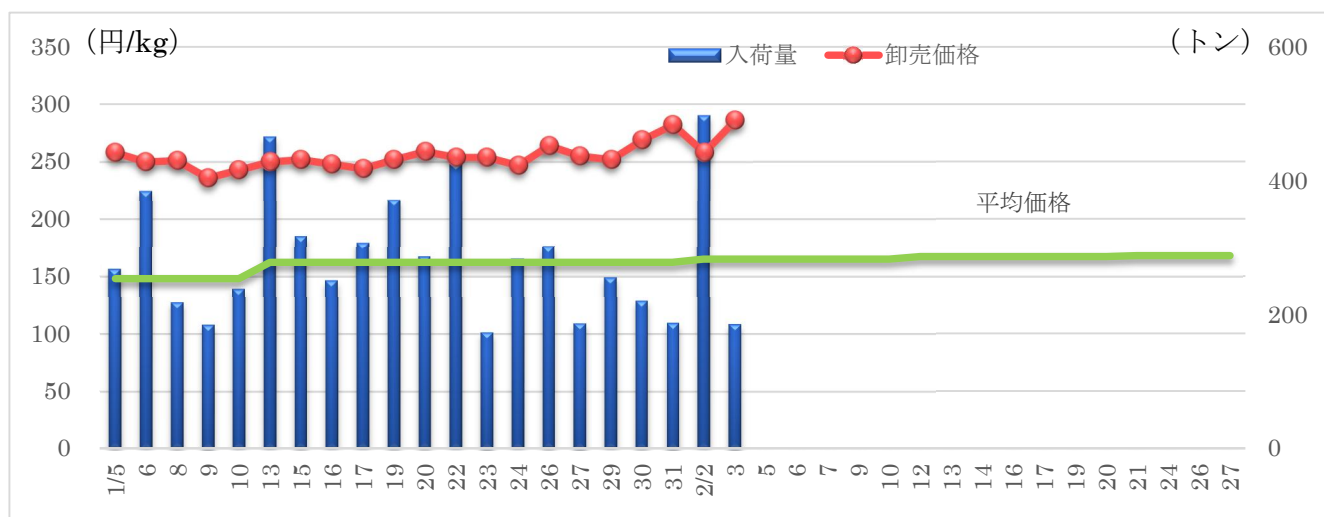
➤ 前年同月比：91%

○5,187g/人（2024 年年間）

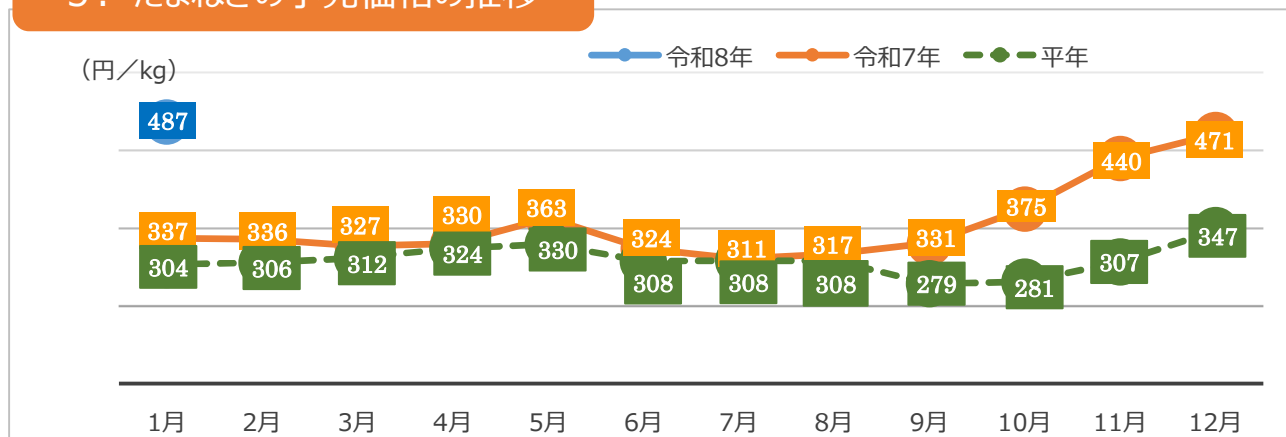
➤ 前年比：98%

（総務省統計局家計調査）

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (8/27)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
静岡県浜松 (11/12)	前年並み	平年並み	平年並み	－
愛知県碧南市 (1/20)	増加	平年並み	平年並み	－
兵庫県淡路島 (12/22)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香川県豊南 (1/21)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
愛媛県西条市 (12/22)	前年並み	－	－	－
佐賀県白石 (12/15)	前年並み	平年並み	平年並み	－

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



愛知県碧南市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (2/7~3/6)

週別の天候				
2/7~2/13	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/14~2/20	北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、寒気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
2/21~3/6	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並みが高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	低20 並40 高40% 平年並みが高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並みの見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側	低30 並30 高40% ほぼ平年並みの見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮たまねぎ)

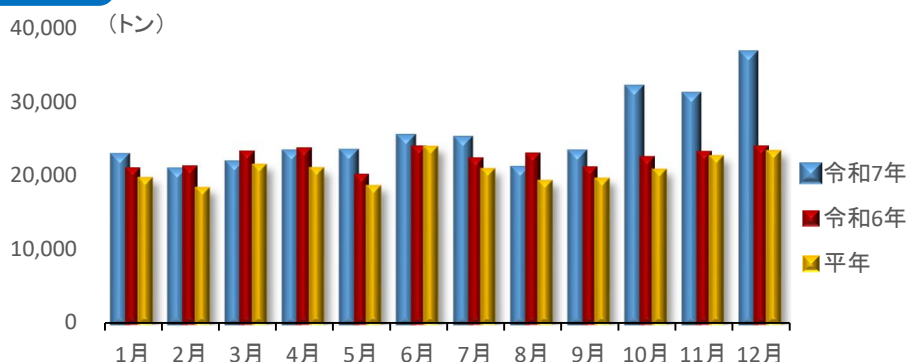
○36,484 t (12月輸入量)

➢ 前年同月比：153%

○輸入先国ベスト3

- 1 位 中国 28,854 トン
- 2 位 米国 6,436 トン
- 3 位 オランダ 1,144 トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

1月は、北海道産は小玉比率が高く数量は少ない傾向が続いた。静岡産の新たまねぎは生育順調で平年並みの入荷量となったが、引き続き高値で推移した。

2月は北海道産の不足感は変わらず、大玉を中心に高値が続く。静岡産は3月にかけてピークとなり安定した入荷が見込まれる。出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課